

いばらき成長産業振興協議会設立趣意書

平成22年6月28日

百年に一度と言われる世界同時不況の影響による国内外での需要減少や価格下落が続き、中小企業はいまだ厳しい経営を強いられている。

さらに、我が国においては、人口減少により将来的な国内の市場規模縮小は避けられない状況にあるとともに、アジア等の諸外国の台頭による競争の激化等により、これまで優位であった日本のものづくり企業の競争力が低下しつつある。

このような状況下において、県内中小企業が活力を維持し、さらに本県を支える企業に発展するためには、本県のものづくりの優位性が発揮でき、今後需要の拡大が見込まれる「成長分野」への進出が必要である。

このため、県においては、国の経済政策の指針となる「新成長戦略」との整合性、県内企業の意向、本県の強みとなる技術の集積状況等を踏まえ、成長分野の選定について検討を行ってきたところである。

この結果、本県において、企業の関心が高く中小企業の進出を期待する成長分野として、「次世代自動車」、「環境・新エネルギー」、「健康・医療機器」、「食品」の4分野を成長分野と設定し、これらの分野への県内中小企業の進出を促進するため、県内の企業や大学・研究機関、産業支援機関等が参集した「いばらき成長産業振興協議会」を設立することとなった次第である。